表4. 水源及び浄水場の検査項目及び頻度　　令和6年度　　＊表中の数値は年間の検査実施回数です。　　長野市上下水道局 浄水課

凡 例
○:通常項目 ◎:追加項目有り ●:基準項目
ｯ:追加項目有り ◆:管理項目も
P:PFOS等 ｶ:かび臭 ﾉ:農薬類 ・:指標菌
C:ｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ等 H:ハロ酢
ト:トリハロメタン生成能

| 分類 | 水源・浄水場・地区 | 検体名 | 0. 現場測定 | | | | | 1. 水質基準項目 | | | | |

| 分類 | 水源・浄水場・地区 | 検体名 | 気温・水温 | 残留塩素 | 溶存酸素（現場測定） | 透明度 | 透視度 | 一般細菌 | 大腸菌 | カドミウム及びその化合物 | 水銀及びその化合物 | セレン及びその化合物 | 鉛及びその化合物 | ヒ素及びその化合物 | 六価クロム化合物 | 陰イオン類（塩素酸を除く） | シアン | ホウ素及びその化合物 | VOC（基準12項目） | 塩素酸 | ハロ酢酸 | 臭素酸 | ホルムアルデヒド | 亜鉛及びその化合物 | アルミニウム及びその化合物 | 鉄及びその化合物 | 銅及びその化合物 | 陽イオン類 | マンガン及びその化合物 | 蒸発残留物 | 陰イオン界面活性剤 | カビ臭物質 | 非イオン界面活性剤 | フェノール類 | TOC | pH値 | 味 | 臭気 | 色度・濁度 | 金属類（目標3項目） | VOC（目標5項目） | フタル酸ジ（2-エチルヘキシル） | 抱水クロラールジクロロアセトニトリル | 農薬類 | 遊離炭酸 | 臭気強度（TON） | 腐食性（ランゲリア指数） | 従属栄養細菌 | PFOS及びPFOA | 電気伝導率 | アルカリ度 | 浮遊物質（SS） | 溶存酸素 | 酸素飽和率（DO%） | BOD | COD | 全窒素 | 全リン | 紫外線吸光度 | アンモニア態窒素 | 塩素要求量 | 酸度 | 侵食性遊離炭酸 | 大腸菌数（最確数） | 嫌気性芽胞菌 | クリプトスポリジウム等 | トリハロメタン生成能 | 生物 | クロロフィルa | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---

| 分類 | 水源・浄水場・地区 | 検体名 | 気温・水温 | 残留塩素 | 溶存酸素（現場測定） | 透明度 | 透視度 | 一般細菌 | 大腸菌 | カドミウム及びその化合物 | 水銀及びその化合物 | セレン及びその化合物 | 鉛及びその化合物 | ヒ素及びその化合物 | 六価クロム化合物 | 陰イオン類（塩素酸を除く） | シアン | ホウ素及びその化合物 | VOC（基準12項目） | 塩素酸 | ハロ酢酸 | 臭素酸 | ホルムアルデヒド | 亜鉛及びその化合物 | アルミニウム及びその化合物 | 鉄及びその化合物 | 銅及びその化合物 | 陽イオン類 | マンガン及びその化合物 | 蒸発残留物 | 陰イオン界面活性剤 | カビ臭物質 | 非イオン界面活性剤 | フェノール類 | TOC | pH値 | 味 | 臭気 | 色度・濁度 | 金属類（目標3項目） | VOC（目標5項目） | フタル酸ジ（2-エチルヘキシル） | 抱水クロラール・ジクロロアセトニトリル | 農薬類 | 遊離炭酸 | 臭気強度（TON） | 腐食性（ランゲリア指数） | 従属栄養細菌 | PFOS及びPFOA | 電気伝導率 | アルカリ度 | 浮遊物質（SS） | 溶存酸素 | 酸素飽和率（DO%） | BOD | COD | 全窒素 | 全リン | 紫外線吸光度 | アンモニア態窒素 | 塩素要求量 | 酸度 | 侵食性遊離炭酸 | 大腸菌数（最確数） | 嫌気性芽胞菌 | クリプトスポリジウム等 | トリハロメタン生成能 | 生物 | クロロフィルa | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---